

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまりきつずPlus		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		令和 8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		令和 8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢に合わせて施設内の設備を整えています。	多機能型事業所として運営しておりますが、体格や動き、活動内容に考慮して、幼児と児童の生活空間を分けて支援しています。野外活動等では小学生のお兄さんお姉さんと一緒に出かけるなど、活動内容に応じて環境を変えて楽しんでいます。	令和8年度より多機能型事業所から、児童発達支援事業所へ変更し、より充実させた内容で支援に取り組んでいきます。同建物内に放課後等デイサービスも併設する為、ひきつづき小学生と交流できる機会も設けて、お互いに良い刺激と経験ができる環境にしていきます。
2	同法人のこども園が近くにあり、常勤している看護師から専門的なアドバイスを受けることができ、急な怪我や体調不良にも安心して対応することができます。	事業所で起きた怪我や体調不良で判断や処置に困る場合は、その場で電話をしてアドバイスをもらい専門的な処置をとることができます。また、疑問に思ったことや衛生管理等、必要に応じて研修や勉強会を開催していただいています。	ひきつづき、法人内で協力を得られる環境を維持し、専門的なアドバイスや知識を得ながら利用者様が安心してご利用いただける支援を心がけていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や事業所の周知が十分ではない。	昨年開所したばかりということもあり、近隣への理解や周知は十分ではないと感じています。緊急時等に近隣との協力体制が取れることが望ましいため、個人の尊厳を守りながらも開かれた事業所を目標にしていきたいと考えています。	今現在は、屋外活動時にすれ違う方と挨拶程度の関わりにとどまっていますが、事業所への理解や周知に向けて自治会への参加や情報発信の体制を整えていけたらと考えています。
2	機能訓練指導員の配置がされていない。	今現在、特別な専門的支援を必要とする利用者がいなかったこともあり配置がされていませんでしたが、令和8年3月より理学療法士の配置が決定しており、より専門的な支援を目指していきます。	理学療法士を配置することにより、今後は受け入れ体制の幅を広くしていくことが可能になります。新しい職員を配置することで、それぞれの専門的な知識を活かし、また意見交換の時間を充実させて職員の質の向上に繋げていきます。